

第1期
2022.4.2 SAT_5.8 SUN

むらたちひろ

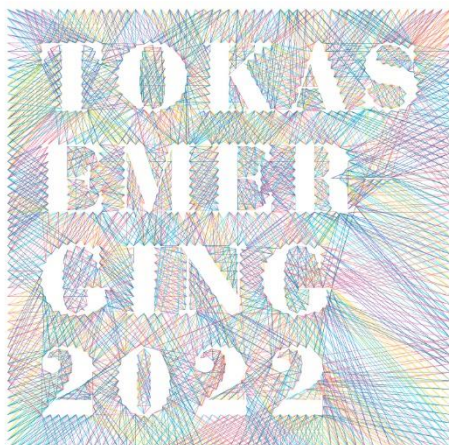
MURATA Chihiro

ジョイス・ラム

Joyce LAM

富樫達彦

TOGASHI Tatsuhiko



第2期
2022.5.21 SAT_6.26 SUN

婦木加奈子

FUKI Kanako

山田沙奈恵

YAMADA Sanae

時山 桜

TOKIYAMA Sakura

公募によって選ばれた、35歳以下の若手アーティストによる展覧会！

トーキョーアーツアンドスペース（TOKAS）が、2001年より若手アーティストの活動支援として行っている「TOKAS-Emerging」は、日本在住の35歳以下のアーティストを対象に個展開催の機会を提供するプログラムです。

「TOKAS-Emerging 2022」では、全国から142組の応募があり、審査を経て6名のアーティストを選出しました。平面、立体、映像、インスタレーションなど、多様なジャンルにまたがる新進気鋭のアーティストたちによる個展を、2022年4月から6月まで2会期にわたり実施します。また、各会期中には審査員をゲストに招き、出展作家とのトーク・イベントを予定しています。

■ 展覧会概要

展覧会名：TOKAS-Emerging 2022

会期 | 出展作家：第1期 2022年4月2日（土）～ 5月8日（日）

むらたちひろ、ジョイス・ラム、富樫達彦

第2期 2022年5月21日（土）～ 6月26日（日）

婦木加奈子、山田沙奈恵、時山 桜

会場：トーキョーアーツアンドスペース本郷（東京都文京区本郷2-4-16）

開館時間：11:00-19:00（最終入場は30分前まで）

休館日：月曜日

入場料：無料

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース

ウェブサイト：www.tokyoartsandspace.jp/

※新型コロナウイルスの感染状況によって、実施内容が変更となる場合があります。

※関連イベント等の最新情報はTOKAS ウェブサイトをご覧ください。

<お問い合わせ>

〒135-0022 東京都江東区三好 4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）広報担当：市川、武智

TEL: 03-5245-1142 FAX: 03-5245-1154 E-mail: press@tokyoartsandspace.jp

■ **参加作家／広報用画像** ※この他にも広報用画像をご用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

第1期 2022年4月2日（土）～5月8日（日）

むらたちひろ | MURATA Chihiro

「internal works / 彼方の果」

むらたは、染色技法の応用や「染まる現象」そのものに注目し、独自の手法を用いて染織に内包される時間的・空間的な揺らぎに対峙する。本展では、引き寄せたくとも捉えきれない過去の記憶をモチーフに、浸透していく色やにじみの様相をとおして、私たちそれぞれの「過去/現在」の揺らぎを描く。

◆プロフィール◆

1986年京都府生まれ。京都府を拠点に活動。2011年京都市立芸術大学大学院工芸専攻染織修了。主な展覧会に「桐月沙樹・むらたちひろ：時を植えて / between things, phenomena, and acts」Co-program カテゴリー B 採択企画（京都芸術センター、2021）、「Gallery PARC すべとしるべ 2020 #01『時の容 / while it goes』」（オーエヤマ・アートサイト、京都）など。主な受賞歴に「清須市第10回はるひ絵画トリエンナーレ」佳作（2021）など。



1. 《unknown moments #04》2020
綿布、染料、水、デジタル捺染応用技法（撮影：麥生田兵吾）

ジョイス・ラム | Joyce LAM

「家族に関する考察のトリロジー」

香港、カナダ、イギリス、日本で生活したラムは、自身の所属する場所を探るなかで、社会を構成する最小単位である「家族」の定義を捉え直す。国や組織が作る複数の家系図を用いて、制度の問題や家族の関係性などを考察したレクチャーパフォーマンスにもとづいた映像インスタレーションを発表する。

◆プロフィール◆

香港生まれ。神奈川県を拠点に活動。東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻在籍。主な展覧会・パフォーマンスに「家族に関する考察のトリロジー」（横浜国際舞台芸術ミーティング YPAM フリンジ 2021）、「MEDIA PRACTICE 20-21」（東京藝術大学横浜校地元町中華街校舎、2021）など。主な受賞歴に「東京ドキュメンタリー映画祭 2021」短編部門コンペティション入選（K's cinema）など。



2. 「家族に関する考察のトリロジー」2021
レクチャーパフォーマンス

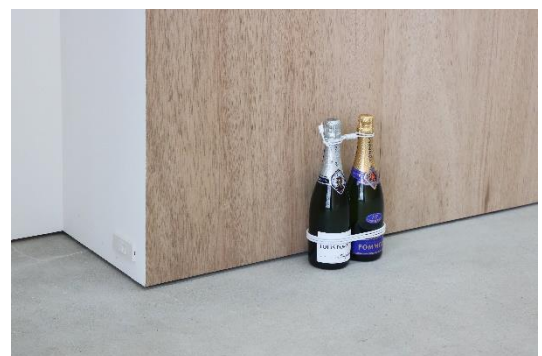
富樫達彦 | TOGASHI Tatsuhiko

「Eat Your School, Don't Do Vegetable」

料理を生業としながら制作をする富樫は、作品の持つ本質的な何かを「味」という言葉で捉える。本展では、さまざまなリサーチをもとに5つの立体作品からなるインスタレーションを展示する。作品やこの世界を「味わう」ことで感じ、考えられることは何かを問いかける。

◆プロフィール◆

1992年山形県生まれ。東京都を拠点に活動。2018年サンドベルグ・インスティテュート・ファインアート専攻修了。主な展覧会に「Never the Same Ocean - あるいは、46億年目のミューテーション-」（HAGIWARA PROJECTS、東京、2021）、「Lavender Hair」（im labor、東京、2021）、「The Mug Blues」（LAVENDER OPENER CHAIR、東京、2020）など。



3. 《Drinking》2021
スパークリングワイン、USB-C ライトニングケーブル

第2期 2022年5月21日（土）～6月26日（日）

婦木加奈子 | FUKI Kanako

「ストレンジャー」

具象的な制作物を身に付けたり、ある場所に置いたり、制作途中のものを外に持ち出して続きを作る行為により、婦木は作品や制作過程そのものを社会に介在させ、相対化する。本展では、身近な世界の中で作品の「置き場所」を見つけるように撮影してまわった一連の写真作品を展示する。

◆プロフィール◆

1996年兵庫県生まれ。兵庫県を拠点に活動。2020年ロンドン芸術大学チェルシー・カレッジ・オブ・アート・グラデュエート・ディプロマ・ファインアート修了。主な展覧会に「Filming」(Solaris、大阪、2021)、「Different Visuals Lightly Touched」(Cookhouse Gallery、ロンドン、2020)など。



4. 《ストレンジャー》2021 写真

山田沙奈恵 | YAMADA Sanae

「A Fire on My Palm」

フィールドワークを中心とした取材にもとづく映像制作によって、山田は人間と自然環境との関係を紐解き、環境の中で身体や精神がどのように位置付けられているのかを探究している。本展では、伊豆大島とアイスランドの火山地帯の取材から、ときに災害をもたらす自然の脅威と共存することと、そうした脅威を観光することについて考察する。

◆プロフィール◆

1987年群馬県生まれ。東京都を拠点に活動。2012年東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。主な展覧会に「中之条ビエンナーレ2021」(イサマムラ、群馬)、「The Pioneers」(VIENTO ARTS GALLERY、群馬、2020)、「群れたち」(S.Y.P art space、東京、2018)など。主な受賞歴に「イメージフォーラムフェスティバル2018」ノミネートなど。



5. 《THE ROOM》2021
HDビデオ、カラー、サウンド

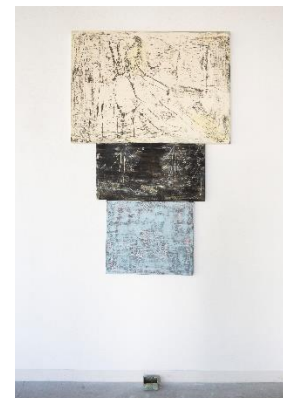
時山 桜 | TOKIYAMA Sakura

「白黒の朝、反射する川と高速で飛ぶ小虫、川辺で歌う歌」

自己と周辺環境とのさまざまなやり取りから得られるものを主題とする時山は、存在しているものの輪郭ではなく、その内側にあるものを感じ取り、自己へ還元していくことを目的として制作する。絵画や立体作品などを組み合わせ、個々の作品から派生した物語を鑑賞者が自身の記憶と結びつけ、異なる時空間の蓄積や密度、関係性を築くことを試みる。

◆プロフィール◆

1996年神奈川県生まれ。東京都を拠点に活動。2020年東京造形大学大学院造形研究科美術研究領域修了。主な展覧会に「まなざしとやどり」(gallery TOWED、東京、2020)、「SUPER OPEN STUDIO 2018『作品を“飾る”#1』」(相原スタジオ、東京)、「時山桜、今井しほか二人展『食う寝るところに住むところ』」(rusu、東京、2018)など。主な受賞歴に「第21回グラフィック『1_WALL』」審査員奨励賞(2019)。



6. 《記憶の受け皿》2020
石膏、アクリル、パネル、キャンバス、陶器

「TOKAS-Emerging 2022」

広報用画像申込書

Fax 番号: **03-5245-1154**

Email: **press@tokyoartsandspace.jp**

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3 4 5 6

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送(月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像はメールでお送りしますので必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での写真のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。

※画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1~2日(土日祝休み)ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像データは、使用後速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web サイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。

※情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVDを一部、印刷物(掲載誌・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Webサイトの場合は、掲載時にURLをお知らせください。

<お問い合わせ> ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD 等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

広報担当: 市川、武智

TEL: 03-5245-1142 / FAX: 03-5245-1154 / E-mail: press@tokyoartsandspace.jp